

一学校教育目標一

よく学び 心豊かで

たくましい上間っ子

- (1) よく考え進んで学ぶ子
- (2) 明るく思いやりのある子
- (3) ねばり強くたくましい子

学校便り

第19号

上間っ子

R5年9月1日(金)

那覇市立

上間小学校

発行責任者

校長 宮里 寧

TEL 917-3327

令和5年度校内童話お話大会!



昨日、8月31日(木)午後2時から校内
童話お話大会が体育館で行われました。所
要時間は一人4分以上5分以内です。

挑戦してくれた上間っ子を紹介します。

1年2組の「なかはると」さん、2年1組
の「よへなりん」さん、「いさりょうか」さん、
2年2組の「やふそはると」さん、3年1組
の「なかざとみゆ」さん、「まつだきぬか」さ
ん、3年2組の「しまぶくろあゆな」さん、「な
かゆづき」さんの8名です。

私の講評は、次のような話をしました。

8名のみなさん、大変お疲れ様でした。みなさん一人一人の発表する姿は、会場にいる観客、
審査員全員に「感動」を届けてくれました。ありがとうございます。皆さんの今の顔は、一
つのことをやりとげたことで、喜びと自信で一杯に見えます。

さて、童話お話大会の条件は暗唱です。暗唱とは好きな物語や文章を暗記しておいて、書
いたものを見ないで言うことです。暗記とは、書いたものを見なくても言えるように、覚える
ことです。最近、新しいものを生み出す創造性が重要だといわれることがあります。暗記す
る力は大事だと思います。今すぐ役立つだけでなく、それを上手く引用したり暗唱できる力が人
生で役立つことが多いです。また、「声に出して読みたい日本語」で有名な齋藤孝さんは、暗記
する力は言語運用能力や創造性を鍛え上げ、人生を幸せにすると述べています。皆さんはこ
の大会で「暗記する力」を鍛えたことになります。

さて、8名それぞれの発表を聞いて、すばらしい点を5つみつけました。
一つ目は、童話お話大会に勇気をもって挑戦したことです。
二つ目は、目標をもって、ねばり強く覚える努力をしたことです。
三つ目は、何回もお話を読み込んで、登場人物の気持ちになって表現することができてい
たことです。

四つ目は、一人一人が気力をふりしぼって発表していたことです。
五つ目は、登場人物の性格や心の動き、行動を声の強さや弱さだけでなく、声や言葉の調子
を上げたり下げたりすることで表情豊かに発表していたことです。

この5つは、上間小学校が育てたい4つの力(人を大切にする力・自分の考えをもつ力
・自分を表現する力・挑戦する力)にもつながっていて、うれしくなりました。

私は、8名の皆さんが今日の発表だけでなく、今日を迎えるまで向上心をもって挑戦してき
たことにとっても感心しました。とてもすごいことだと思います。心から拍手を送ります。

発表終了後、審査が行われました。最優秀賞に「なかゆづき」さんが選ばれました。おめ
でとうございます。学校代表として9月26日(火)に真和志南ブロック大会に出場します。

その大会でも、自分の持っている力を発揮して頑張ってください。